

省力化低コスト技術の実証試験について

全農にいがたでは省力化低コスト技術の普及拡大に向けて、様々な実証試験に取り組んでいます。本年度、実施いたしました土壌センサ搭載型可変施肥田植機と密苗・播種移植システムの実証試験（中間報告）について紹介いたします。

土壌センサ搭載型可変施肥田植機(8条植)

土壌センサ搭載型可変施肥田植機は県下4法人にて実証をおこなっております。

(1) 移植結果

- ・最大減肥率を30%に設定し実施。基本施肥よりも反当り6kg程度、低減することができた（今後の生育状況、収量等を勘案して次年度の施肥設計を策定）。

法人	品種	移植日	面積 (a)	基本施肥(設定)		可変施肥		差		
				反当り (kg/10a)	施肥 総量 (kg)	施肥 総量 (kg)	反当り (kg/10a)	施肥 総量 (kg)	反当り (kg/10a)	減肥率
			A	B	C=A*B	D	E=D/A*10	F=C-D	G=B-E	G/B
A	新潟次郎	5/3	159	30	476	379	24	97	6.1	20%
B	コシヒカリ	4/27	51	40	202	167	33	35	6.9	17%
C	こしいぶき	5/5	103	35	362	299	29	63	6.1	17%
D	コシヒカリ	5/15	98	35	344	274	28	70	7.1	20%

(2) 生育状況（7月下旬）

- ・どの圃場もムラがなく、均平に生育。



(村上管内圃場)



(中之口管内圃場)

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。

密苗・播種移植システム

密苗播種移植システムは県下7法人にて実証試験をおこなっております。

(1) 移植結果

- ・ 反当りの箱数は6～8枚程度に低減することができた。
- ・ 浮き苗、転び苗もほとんど発生せず、欠株率も3%程度に抑えられた（播種量が少なかった場合、欠株率が高くなる傾向がある）

法人	品種	面積 (a)	通常		実証試験						
			反当り 箱数 (枚)	播種量 (g/箱)	播種日	移植日	育苗 期間	植付 株数 (本)	播種量 (g/箱)	反当り 箱数 (枚)	欠株 (%)
A	コシヒカリ	20	16	143	4/21	5/9	18	50	200	10.0	15.0
		40							250		
B	コシヒカリ	54	16	145	5/3	5/19	16	50	320	6.5	3.3
C	コシヒカリ	15	10	180	5/2	5/22	20	50	250	8.3	3.3
D	コシヒカリ	140	18	120	5/10	5/23	13	50	250	8.5	3.3
		10						60			
E	こしいぶき	60	16	160	4/15	5/2	17	50	235	9.2	5.0
F	コシヒカリ	60	18	180	4/19	5/6	17	60	250	7.6	5.0
		55						300			
G	コシヒカリ	62	19	150	4/2	4/27	25	50	200	10.8	1.6

(2) 生育状況（7月下旬）

- ・ 連続欠株もほとんど見受けられず、生育も順調。



(新津管内圃場①)



(新津管内圃場②)

(担い手・営農支援部)

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。